

韓国における口蹄疫（O型）発生の概要

（注）国際機関や在外公館等政府関係者から入手された情報のほか、一部、報道等による情報を含みます（〔 〕で記載）
追加情報は下線部で示します。頭数等は、国際機関への報告等の際に修正される場合があります。

| | 異常確認日 (確定日) | 発生場所 | 発生群 (畜種) | 飼養頭数 | 発生例数 ／死亡数 | 発生状況、防疫対応、疫学情報 |
|---|------------------|-------------|-------------|--------|--------------|--|
| ① | 11/26 (11/29) | 慶尚北道 安東市 | 豚 | 5,500頭 | 6頭 ／0頭 | <ul style="list-style-type: none"> ・11月26日、農場主が疑わしい症例を発見し、地方獣医当局に通報。 同日、簡易検査キットの結果は陰性。 ・11月28日、同じ農場主が、同農場及び近隣農家で疑わしい症例（水疱及び潰瘍）を発見し、獣医科学検疫院（NVRQS）へ通報。 |
| ② | 11/28 (11/29) | 慶尚北道 安東市 | 豚 | 3,500頭 | 4頭 ／0頭 | <ul style="list-style-type: none"> ・11月29日、NVRQSで精密検査を実施。PCR及び抗原検出ELISAで口蹄疫と判定。 ・11月30日、O型と判定。 |
| ③ | 11/29 (11/30) | 慶尚北道 安東市 | 牛 (韓牛) | 5頭 | 1頭 ／0頭 | <ul style="list-style-type: none"> ・11月29日、獣医師が流涎、発熱、飼料摂取量の減少等の症状を確認し地方獣医当局に通報。 ・11月30日、NVRQSで精密検査を実施。PCRで口蹄疫と判定。 ・①②の農場の南西8kmに位置。 |

[12月1日、安東市の牛農家3件で口蹄疫の疑い報告あり。2日に結果判明予定。]

【韓国における防疫措置】

- ・ 1、2例目については、家畜衛生協議会の決定に基づき、発生農場から半径3km以内の132農家、2万3千頭を殺処分。
- ・ 3例目については、発生農場から半径500m以内の農家を殺処分。
- ・ 区域ごとの移動制限等
 - 危険区域 Risk Zone（発生農場から半径3km以内の区域）
（対策の概要）偶蹄類の動物の移動・導入の禁止、家畜市場・と畜場の閉鎖、生乳の廃棄、人・車輛の移動の制限
 - 警戒（サーベイランス）区域 Surveillance Zone（発生農場から半径3km～10kmの区域）
（対策の概要）偶蹄類の動物・導入の禁止、家畜市場・と畜場の閉鎖、飼料用として生乳の使用の禁止、人・車輛の移動の制限
 - 管理（制限）区域 Control Zone（発生農場から半径10km～20kmの区域）
（対策の概要）家畜市場の閉鎖、人、車輛の移動の制限
- ・ 発生農場・施設の消毒
- ・ 空港湾での国境検疫強化（靴底消毒、手荷物検査）

【我が国の対応】

動物検疫所において、下記の対応を引き続き実施。

- ・ 韓国からの偶蹄類の動物の肉等及び糞等からの輸入禁止。
- ・ 韓国からの旅客に対する靴底消毒等の徹底。

【その他】

韓国政府から国際獣疫事務局（OIE）への報告

<速報> http://www.oie.int/wahis/public.php?page=single_report&pop=1&reportid=9993（1、2例目）

<続報> http://www.oie.int/wahis/public.php?page=single_report&pop=1&reportid=10002（3例目）